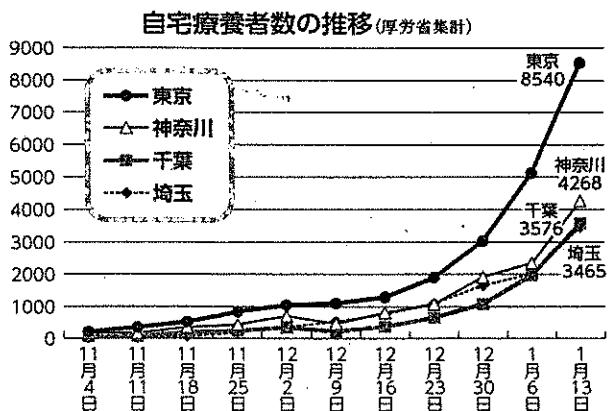


1都3県の感染自宅療養者

全国の6割超に



訪問看護師が在宅療養する新型「ロナ患者の自宅を訪問する際に使用しているフェイスシール」と「95マスク

陽性の夫 妻の介護統け

18日になつてやつと夫婦とも
もに受け入れ先が見つかりました。
した。この看護師は指摘しま
す。「この夫婦が住む自治体は
は公立病院がなく、受け入れ
先が限られています。政府の
責任ですぐに入院、療養がで
きる体制を整えるべきです。
この先も、医師や看護師を増
員して医療体制を整備する必
要があります」

野生脊髄膜の集計によれば、新潟市立日大
ウイルスに感染し自宅療養している人は全国で3万230人(13日時点)。無症状・
軽症で療養している人のほか、高齢者や基礎
疾患があるなど重症化リスクが高い人で
も入院先が見つからず、自宅で待機を余儀
なくされる人が増えています。

では新規感染者の急増に伴って週ごとに自宅療養者が増加し、昨年12月16日現在千葉県内に住む70代の夫妻は、夫が新型コロナウイルスへの感染が確認された後も、1週間近く妻の介護を担当せざるをえない状況におかれました。

田崎氏の計323366人か
ら4週間で計1万984
9人と6倍になります
た。全國の割以上を占
めます。最も多い東京都
は85400人で、神奈川、
埼玉42680人、千葉県3
576人、埼玉県346
いています。

検査で陰性だったものの、夫の感染を理由に介護施設への短期入所を断られ続けました。このため夫は倦怠（けんたい）感を抱えながら、妻の介護を続けてきました。

夫は毎日、かういふ強烈な感覚を訴えるようになります。応対してきた訪問看護師は「私たちが直接病院に受け入れをお願いしても『保健所を通じて』となるのです。病院も病床はいっぱいですからね。とても もどかしかつた」といいます。

5人とも続ります。

都のモニタリング会議
(14日)は、濃厚接触者
の感染経路のうち、同居
する人からの感染が57%
で最多だと指摘。特に介